

# 取扱説明書

## フルハーネスベルト 新規格

品番：#7950960000 型式：119AN  
品番：#7950961000 型式：115CE

### 1, ご使用の前に

- ・本商品は高所作業時の墜落防止に用いる墜落制止用器具です。
- ・本商品は厚生労働大臣が定めた新規格「墜落制止用器具の規格」に適合したフルハーネス型墜落制止用器具です。
- ・本商品を正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に作業者と事業者の方は、必ず本書をお読みください。また本書と併せて、厚生労働省が策定した「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」もご確認ください。
- ・作業に合った適切な墜落制止用器具であることをご確認ください。このフルハーネスベルトの種類は〈フルハーネス型〉で、種別は〈第一種〉です。胴ベルトタイプの墜落制止用器具には使用できません。
- ・本商品は、2 m以上の高所作業において、作業床の設置が困難な作業環境や、作業床はあるものの、墜落・転落の恐れのある作業床の端や開口部などに、囲い・手すりなどの設置が困難な作業環境において、作業者の墜落・転落による危険を防止するため、別売りのランヤードに接続して使用するフルハーネスベルトです。
- ・別売りの【#7950962000：シングルランヤード新規格】、もしくは【#7950963000：シングルランヤード新規格】のいずれかと併せて使用してください。また、本書はフルハーネスベルト部分についての取扱説明書です。したがって本商品に接続するフルハーネス型ランヤードの取扱説明書も併せてお読みください。
- ・本商品を使用される際には特別教育を受講してください。フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業（安衛則第518条第2項が適用される作業）に係る業務に従事する作業者は、労働安全衛生規則において、特別教育の受講が義務付けられています。事業者は本商品を使用する作業者に所定の特別教育を受講させてください。

### 2, 使用高さ・重量の制限

※弊社の別売りシングルランヤード【#7950962000】、【#7950963000】のいずれかと併せて使用してください。

- ① #7950962000 の場合  
② #7950963000 の場合

種類：フルハーネス型

種別：第一種

使用可能質量：100 kg

(A) 最大自由落下距離：2.5 m

(B) 落下距離：①4.55 m

②4.48 m

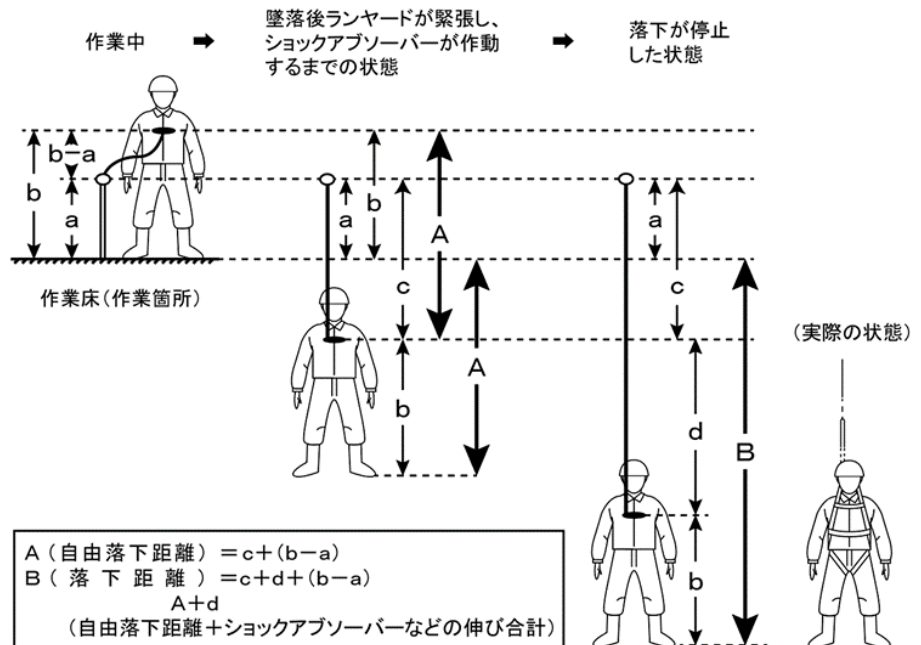
(a) フック取り付け高さ

(b) D環の高さ

(c) ランヤード長さ

(d) ショックアブソーバー、フルハーネス、ランヤードの伸び合計

(b-a) 追加落下距離



必要となる作業床の高さ：

- ① 4.55 m以上、② 4.48 m以上

・標準的な使用条件における自由落下距離・落下距離

(a) フック取り付け高さ：0.85 m

(b) D環の高さ：1.46 m

(c) ランヤードの長さ：1.89 m

(d) ショックアブソーバー、フルハーネス、ランヤードの伸び合計 (d1 + d2)：①2.05 m ②1.98 m

(d1) ショックアブソーバー (第一種) の伸びの最大値：①1.05 m ②0.98 m

(d2) フルハーネス、ランヤードの伸び：1 m

※本商品では、標準的な使用条件として (a) フックの取り付け高さを0.85 m、(b) ランヤードとフルハーネスを接続するD環の作業床などからの高さを1.46 mと定義しています。

※(d1) (d2) 標準的な使用条件において、100 kgの重りで落下試験を行った際のショックアブソーバーの伸びの最大値を①1.05 m、②0.98 mとし、フルハーネスの伸びとずれ、およびランヤードなどの伸びを1 mとしています。

※作業床からフック取り付け高さが0.85 m、落下距離が①4.55 m以下、②4.48 m以下の場所でご使用になる場合は、フックを0.85 mより高い位置に掛け替えて使用してください。

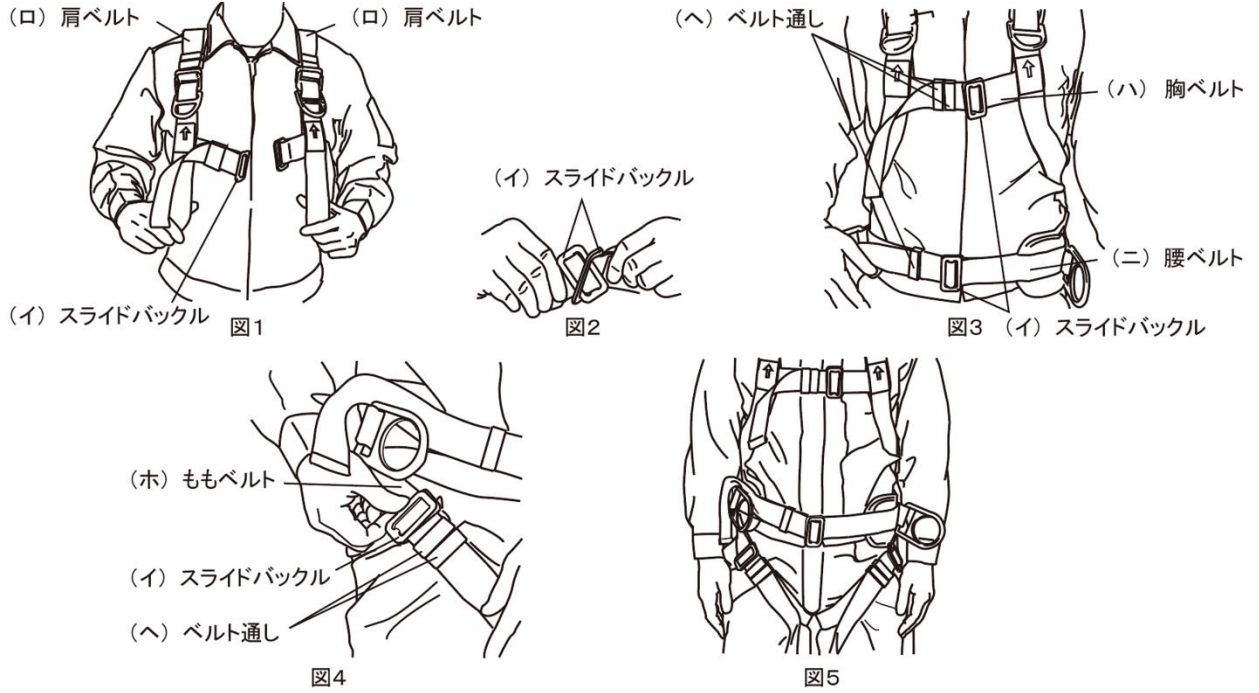
※本商品の使用可能質量 (体重 + 装備質) は100 kgです。必ず使用可能質量100 kg (体重 + 装備質量) 以下でご使用ください。作業者の体重と装備品全ての合計質量が、100 kgを超えると、墜落制止時に大きな荷重が加わり重大事故につながる恐れがあります。

※ショックアブソーバーのタグに表示されている最大自由落下距離 (2.5 m) は、ショックアブソーバー単体の性能を確認した際の落下距離です。また、フック取り付け高さが0.85 mの標準的な使用条件における落下距離でもあります。

※落下距離は、ご使用時のフック取り付け高さ、ランヤード長さによって異なりますのでご注意ください。フックの取り付け位置が高くなるほど、落下距離は短くなります。

### 3, 使用方法

・下記の使用手順に基づいて本商品を着用してください。



- ① (イ) スライドバックルをすべて外した状態で、(ロ) 肩ベルトに両腕を通します(図1参照)。
- ② 胸部の(イ) スライドバックルをはめ合わせて、(ハ) 胸ベルトを連結します(図2、3参照)。
- ③ 腰部の(イ) スライドバックルをはめ合わせて、(ニ) 腰ベルトを連結し、腰骨の位置にフィットするように装着します(#7950961000に腰ベルトはありません。)(図2・3参照)。
- ④ ももの(イ) スライドバックルをはめ合わせて、(ホ) ももベルトを連結します(図2、4参照)。
- ⑤ 肩・胸・腰・ももの各ベルトの長さを調節します。また、余ったベルトは(ヘ) ベルト通しを用いて固定してください。
- ⑥ 全体に緩み・ねじれが無いかを確認して、装着完了です(図5参照)。

### 4, 交換の目安(耐用期間)

- ・使用頻度、使用環境や保管方法などによって異なりますが、使用開始年月から2年を目途に新しい商品と交換してください。なお、耐用期間内であっても後述の〈5, 点検と廃棄の基準〉に従って点検を必ず実施し、廃棄基準に該当する商品は使用せずに、新しい商品と交換してください。
- ・管理責任者を定めるなどの方法で確実に商品の点検・交換を行い、その内容を管理台帳に記録してください。
- ・本商品を使用する作業者は作業前に必ず始業点検を行ってください。
- ・商品点検後、地上で本商品を装着し、異常がないことを確認してください。
- ・使用する作業者もしくは管理者・責任者は定期点検を必ず1ヶ月ごとに行ってください。
- ・作業中に本商品に異常を感じた際は、直ちに作業を中止してください。
- ・1度でも大きな衝撃を受けた商品の使用は危険ですので、直ちに使用を中止し、再使用しないでください。
- ・ベルトに切れ込み、ほつれ、毛羽立ちなどがある商品、金属バックルが腐食している商品は、直ちに使用を中止してください。

### 5, 点検と廃棄の基準

点検項目、点検方法及び廃棄基準は、表1による。

表1 点検基準 ◎: 最重要点検項目 ○: 重要点検項目

点検項目	点検の種類		点検方法	廃棄基準
	始業点検	定期点検		
D環	◎	◎	目視	目視で確認できる程度の大きな変形があるもの 深さ1mm以上の傷、摩滅、亀裂があるもの 全体にさび、または著しい腐食が発生しているもの
	○	◎		
	○	◎		
スライドバックル	◎	◎	目視	変形によってスライドバックル同士が完全に結合しないもの 変形によって正しく装着してもベルトが緩むもの 深さ1mm以上の傷、摩滅、亀裂があるもの 全体にさび、または著しい腐食が発生しているもの
	◎	◎		
	○	◎		
ベルト	◎	◎	目視	目立った切り傷、擦り傷、引っ掛け傷、摩耗などが認められるもの 薬品が付着したもの、また、薬品によって変色、硬化、溶解箇所があるもの 塗料などが著しく付着して硬化、変色しているもの 縫製部にゆるみやほつれがあるものや、縫糸が1ヶ所以上切断しているもの 縫糸が切断して、ベルトの剥離が少しでも認められるもの
	◎	◎		
	◎	◎		
	◎	◎		
ベルト通し	○	◎	目視	各部よりベルト通しが脱落しているもの 1mm以上の傷、摩滅、亀裂があるもの
	○	◎		
使用期間	—	◎	管理台帳、表示などの確認	使用開始から2年以上を経過している場合

## 6, 注意事項

### △危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負うことになるもの。)

- ① フルハーネスベルトに接続するランヤードは、必ず**墜落制止用器具の要件を満たす**弊社の別売りランヤード【#7950962000】、【#7950963000】のいずれかと併せて使用してください。
- ② 別売りのランヤードのカラビナを**フルハーネス背部のD環に取り付けて使用**してください。カラビナを構造物やフルハーネスのベルト部に取り付けるなど、接続方法を誤ると墜落制止時にショックアブソーバーの作動が妨げられる恐れがあります。
- ③ 高所作業者の**墜落制止以外の目的・用途**では使用しないでください。
- ④ ベルトの締め方が緩いと、身体が抜け落ちる恐れがあります。必ず、**すべてのベルトを確実に締めて**ください。
- ⑤ ランヤードが**首の前にある状態や脇・股に挟み込まれた状態で作業をしない**でください。墜落制止時にランヤードが身体に絡まり、死亡または身体に重大な影響を及ぼす恐れがあります。
- ⑥ **墜落時にランヤードの構造物側フックが滑り落ちるような箇所に取り付けない**でください。墜落制止時に滑り落ちた構造物側フックが、破損する恐れがあります。また、構造物側フックが滑り落ちることによって、落下距離が長くなり、衝撃荷重が大きくなって身体に損傷を及ぼす恐れがあります。
- ⑦ **ランヤードの構造物側フックを足元などの腰より低い位置に掛けての使用はしない**でください。墜落時の衝撃荷重が大きくなり、身体に重大な影響を及ぼす恐れがあります。
- ⑧ ランヤードの構造物側フックは**墜落制止時に地面に衝突しない高さの構造物に取り付け**てください。墜落制止時には、ショックアブソーバーが作動し伸びますので、構造物側フックの取り付け位置が低いと、身体が地面や下方の障害物に衝突し、身体に損傷を及ぼす恐れがあります。
- ⑨ **ランヤードの構造物側フックは墜落時に身体が大きく振られて障害物に衝突しない位置に取り付けて**ください。墜落制止時に障害物に衝突して、身体に損傷を及ぼす恐れがあります。
- ⑩ 本商品の**使用可能質量(体重+装備質量)は100kg**です。必ず使用可能質量100kg(体重+装備質量)以下でご使用ください。作業者の体重と装備品全ての合計質量が、100kgを超えると、墜落制止時に大きな荷重が加わり重大事故になる恐れがあります。

### △警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ① ベルトに**酸やアルカリを付着させない**でください。酸やアルカリでベルトが溶解して強度が低下し、十分な強度が得られず、墜落制止できない恐れがあります。
- ② **高温の物体に近づけない**でください。合成繊維は、熱によって溶融して強度が低下し、十分な強度が得られず、墜落制止できない恐れがあります。
- ③ **ベルトに屈曲やしごき加わるような使用はしない**でください。過度の屈曲やしごきが繰り返されると、ベルトが摩耗し、ベルトの破断を引き起こす恐れがあります。
- ④ 垂直・水平親綱の1スパンを使用する作業者は1名としてください。墜落制止時に他の作業者が引き寄せられ、同時に落下する恐れがあります。
- ⑤ **ベルトやランヤードに体重をかけない**でください。体重をかけるとフルハーネスベルトおよびランヤードが損傷して強度が低下する恐れがあります。また、バランスをくずして墜落する恐れもあります。
- ⑥ 1度でも大きな衝撃を受けた商品の使用は危険ですので、直ちに使用を中止し、再使用しないでください。
- ⑦ **人と人とをベルトで繋いでの使用はしない**でください。
- ⑧ 本商品の**分解、修理、改造はしない**でください。また、使用中に**異常を感じた場合は、直ちに使用を中止**してください。
- ⑨ 本商品に**変形、破損箇所、摩耗、錆、退色、塗料付着による硬化などがある場合は、直ちに使用を中止**してください。

### △注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、商品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ① 必ず、始業点検を実施してください。
- ② 本商品の取扱いは丁寧に行ってください。異物が組立部品の内部に付着すると、部品が破損や変形し、作動不良を起こす恐れがあります。
- ③ 本商品を**屋外に放置しない**でください。ベルトなどの合成繊維は、紫外線によって強度が低下する恐れがあります。
- ④ 本商品を保管する際には、直射日光や火気、高温多湿な場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- ⑤ 高温(50℃以上)になる場所に長時間保管しないでください。
- ⑥ 本商品を保管する際には、**小さなお子様の手の届かない場所に保管**してください。
- ⑦ 使用しない期間が続いた場合でも定期的に点検を行い、充分な手入れを行ってください。
- ⑧ ベルトなどの**縫い糸にほつれがある場合は、使用しない**でください。
- ⑨ 強風時や、荒天時は危険ですので使用しないでください。
- ⑩ 本商品を**異なるメーカーのランヤードや部品と組み合わせて使用しない**でください。
- ⑪ 本商品を重量物の下敷きにして、傷や変形が起こらないように注意してください。
- ⑫ 雨に濡れたフルハーネスやランヤードは、非常に電気を通しやすくなりますので、**感電に注意**してください。
- ⑬ 構造物側フックなどの金属部品が濡れた場合には、その液体をよく拭き取ってください。
- ⑭ 本商品に付着した泥・砂・埃などは取り除いてください。また、構造物側フックの可動部には定期的に注油を行ってください。
- ⑮ ベルトなどの合成繊維部品が汚れている場合は、水を含ませた布などで軽く叩いて、汚れを布に移してください。その後、直射日光の当たらない風通しのよい場所に陰干しし、自然乾燥させてください。

